

「すべての命を守るために」

世界中で多くの命が奪われています。世界の難民はついに8千万人を超えました。そのうちの40%が18歳未満の子どもたちと言われています。両親を失い、別れ離れになり、暴力や虐待、児童労働、教育欠如、早婚に搾取は、当たり前の世界でも生き続けねばなりません。国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は、これら世界の難民の命と生活を守り、保護する国連の機関です。緒方貞子さんと言えば、1991年から10年間、日本人女性として初めて弁務官を務められました。彼女は、直接、現地へと赴き、難民キャンプに住む子どもたちの手を取り、支援を続けました。「すべての命を守るため」、世界は動き始めました。私たちもはじめての一步を標しましょう。

◆誰一人見捨てられない

世界の至る所で泣いている子どもたちがいます。その誰一人として取り残されることはあってはなりません。必ず一緒に助け出される必要があるのです。自分と何人かだけが助かれれば良いとか、何人かでもよいので、とにかく救出せよ、ということではないのです。SDGsの17目標は、ただ単なる一時的な奉仕や協力とは違います。すべての命を守るための、まさに新たな変革であり、世界目標です。ですから、これは持続可能でなければなりません。そのためにどうしても皆の協力と連帯が必要なのです。

◆他者の利益のために

自己中とはすこぶる情動的な人であり、一時的な活動に終わる傾向にあり、結局は長続きしないものです。しかし、その一方で、利他的な生き方を目指す人は、試行錯誤したうえでの決意が伴っているため、持続的に働きます。そして、何よりも効果的かつ合理的な考えに基づいて実行していくので簡単には諦めません。今、この利他的な生き方が、世界の潮流に変わりつつあります。実は、日本もこの潮流に乗って、世界でも有数の寄付金支出国です。意外に思われるかもしれませんが、日本は海外の貧しい国々へ多くの支援金や援助金を出している国なのです。

◆真の利他とは？

個人寄付金が一番伸びたのが、2011年東北大地震と言われています。その後も二年で一気に380億円も増えました。しかし、寄付だけがが増えても、それだ

けでは、真に利他的かと言えば、そうとも言えませんが、なぜなら、真の利他は寄付するだけではないからです。真の利他とは何か。ただ「魚を与えて、釣り方を教えない」のでは、真の利他ではないからです。金銭や物資の供与だけでは、人は成長しません。確かに死の危険が迫っているのではない限り、真の利他とはならないのです。

◆ともに生きる喜び

そもそも人は働いて生きていくものです。「働かざるもの食うべからず」と、パウロがこの言葉を最初に使いました。真面目に働かず余計なことばかりする人々を非難したのです。パウロは「自分で得たパンを食べ、落ち着いて仕事をしなさい」(2テサ3:12)と勧告しています。自分で得た糧を食べるには、他人からいただくばかりではいけません。釣りの仕方を覚えることです。これが労働の喜びと変わります。自分たちの力で水を引き、灌漑用水路を作って、取水した水を田畑に入れる。そうすれば作物は育ち、自分たちで得た糧で飢えを満たし、家族を養い育てることができます。この当たり前の日々の営みこそ、人間の最大幸福であり、喜びなのです。

◆難民たちの幸福

彼らには緊急の援助が必要です。しかし恒久的かつ持続的には自立するためには、何とかして自活できる道筋まで整えてあげることです。それこそが、まさに持続可能な開発目標(SDGs)です。息の長い援助と支援のために、できる事を続けましょう。

## 2021年7月の<公開ミサ>の予定と典礼奉仕のお願い

◆梅雨の中休みでしょうか。雨のない日々が続きます。7月に入り、どんどん熱くなりはないかと心配しつつ、コロナ禍の中に、いよいよワクチン接種も本格的になってきました。一日も早いコロナ禍収束を祈りながら、ミサだけはこれからもコロナ対策を講じながら、続けてまいりましょう。以下は、7月の典礼奉仕表になります。引き続きご協力お願いいたします。

◆主日ミサは日曜 9 時、前夜の土曜午後7時、そして早朝午前 6 時半になります。分散して参加して下さい。

◆入堂前の手指消毒とマスク着用はすっかり定着しましたが、これに加え既に実施されていますが、検温と氏名、連絡先を書いてもらっています。ご協力、ご理解をお願いします。◆三密回避として聖堂内への入場制限は50人です (\*但し、典礼奉仕者を除きます)。

◆この人数制限を超える場合は、玄関ロビーでお願いします。また泣部屋は子ども連れ家族のみとします。

◆聖堂内では白印を前に、ご着席ください! ◆換気及び加湿を同時に行っています。

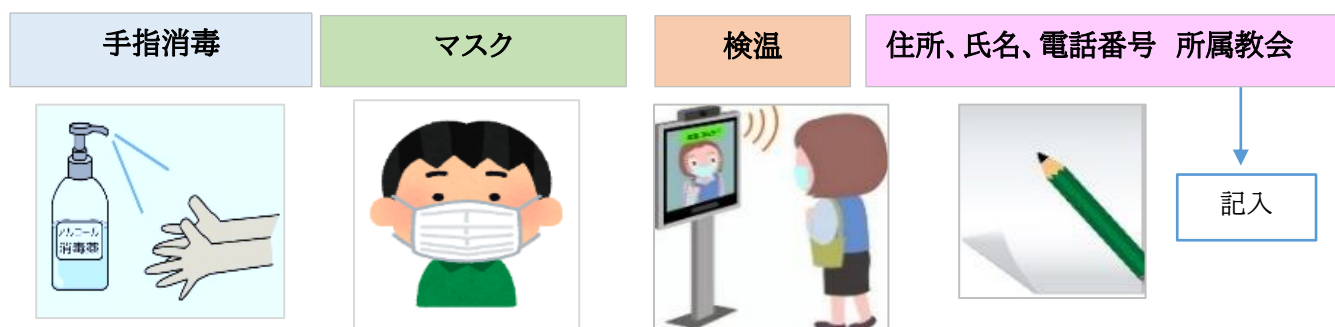
◆聖体拝領は一列に並び前後間隔 1m以上あけて前へお進みください。

■7月の典礼奉仕の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 7月4日 年間第14主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ●	1 班
◇ 7月11日 年間第15主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ●	2.3 班
◇ 7月18日 年間第16主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ●	4 班
◇ 7月25日 年間第17主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ●	5.11 班

★「すべての命を守るために」今、私たちにできる行動は、難民たちのためにせめて祈ることです。まだまだ多くの人々、特に幼い子供たちは、その命の危険にさらされています。国から排除され、暴力や残虐な目に合わされ、泣いています。どうか、忘れ去られることなく、殺戮や不正を繰り返し、人権を奪う非人道的行為に反対し、無関心は捨て去りましょう。ともに支えあい、祈りの内に連帯し、希望の光で照らし、愛の手を差し伸べましょう。神に感謝! (2021/7/1) 主任司祭 トマス頭島光

感染予防対策にご協力下さい



写真・平田龍一



## 草取り



6月26日教会の草取りを行いました。ボーイスカウト団員の方々を初め、沢山の方々が参加し、いい汗を流しました。教会も綺麗さっぱりとなりました。皆様、お疲れ様でした。

## 7月の教会歴

### 7月1日 福者ペトロ岐部と187殉教者(記念日)

ペトロ岐部と187殉教者は、1603年から1639年にかけて殉教した日本人である。日本各地を代表しており、社会的立場も司祭、武士、商人、家族、女性、障がいのある人、子どもと多岐にわたっている。188人のうち、司祭が4人、修道者1人、他の183人は信徒であり、徳川幕府時代の厳しい迫害にもかかわらず、いのちをささげることによって信仰を証した。殉教者たちの信仰と愛を称えて、2008年11月24日、長崎市においてペトロ岐部と187殉教者の列福式が行われた。日本の教会が、殉教者の血から生まれ、その上に立てられたことを思い起こし、現代社会の中で教会が自信と活気に満ちあふれて、福音を宣べ伝えるきっかけとなった。死をとおして、イエスの愛にならった彼らの証は、どんなときもイエスの価値観を選び、それを証しすることの大切さを、わたしたちに教えてくれる。

—女子パウロ会聖人歴より—

### 十字架の道行 —誰のために 何のために—

5月23日聖霊降臨祭の祝日のミサで堅信式と共に十字架の道行の祝別が中野祐明司教様の司式でありました。この聖画は、純心聖母会八王子修道院のシスター浦田カツ代氏の手によるもので、1年の構想をかけて描かれました。誰でもいつでもここにきて祈りを捧げることができますように、特別なパンフレットも用意されました。



(パンフレット)

### 第15留 イエスが復活する

新しい命 新しい世界  
主は希望をこの世界に残された二人の白い衣の人は言う  
「あの方は蘇ってガリラヤで・・・」  
—— 一目散に走りゆくマリア  
このマリアの姿を  
今日心に刻みたい「私は見ました」と

参照箇所 ヨハネ 20:11~18

### 7月18日 聖なる贖い主 (祭日)



この祭日は、キリストにおける歴史的な出来事を思い起こすためではなく、聖なる主の贖いの神秘を、人間の歴史を超えるものとして、その深い意味と力を悟るために定められました。贖い主キリストにおいて神の愛は明らかに示され、完成されました。贖い主として「御子は、見えない神の姿であり、すべてのものが造られる前に生まれた方」(コロサイ1・15)であり、また子において「神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿に似たものにしようとあらかじめ定められました。それは、御子が多くの兄弟の中で長子となられる」(ローマ8・29)と言われている通りです。実に、キリストはこの計画を成し遂げるために「地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せる」(ヨハネ 12・32)という役割を果たし、人間を新しくするのです。「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者」(IIコリント5・17)であり、その意味でまさに「神はキリストによって世を御自分と和解させ」(IIコリント5・19)られたのです。

(頭島光 神父様より)

### かんたん 「ガトーショコラ」

#### 材料(4個)

ホットケーキミックス	65g
ココア	3.5g
牛乳	25cc
マーガリン	25g
砂糖	30g
卵	30g
粉糖	適量

#### 作り方

- ① マーガリンと砂糖を白っぽくなるまで混ぜる。
- ② ①にホットケーキミックスとココアを混ぜる。
- ③ ②に牛乳と卵を加え、混ぜる。
- ④ カップに移し 180℃のオーブンで約15分焼く。
- ⑤ 焼き上がったら、粉糖をふる。



用意するもの

アルミカップ 4枚

おためしください。♥



—UEKAWA—

—訃報—

5月31日、久保美茂子さん(85歳)が帰天されました。